

私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています

白 い ま ど

January

1

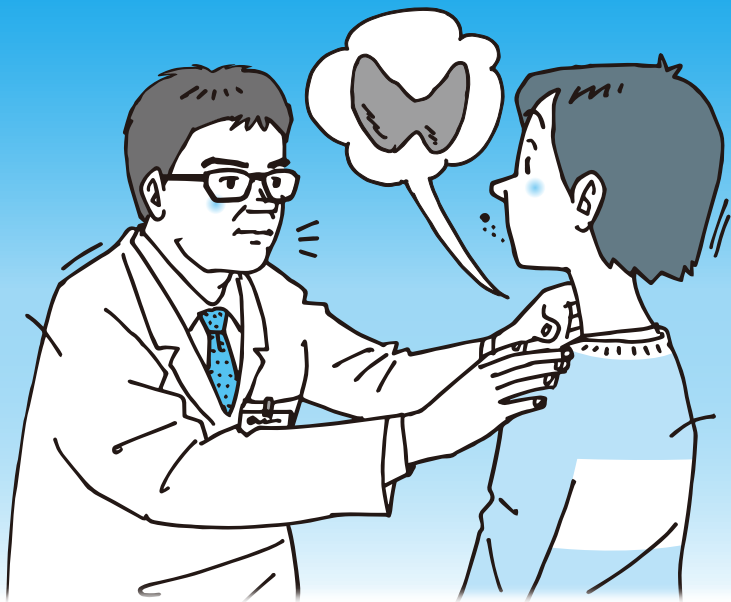
2019年
1月1日発行
No.463

今月の色: 門松

特集

がんに克つ!⑭ 甲状腺がん P-1

- 年頭のご挨拶、インフォメーション P-4
- 診療科・センター紹介 耳鼻咽喉科 P-5
- 診療を支えるスペシャリスト
臨床検査技師(聴力測定技術講習会認定) P-6



病院理念 私たちは利用してくださる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

がんに克つ!

14

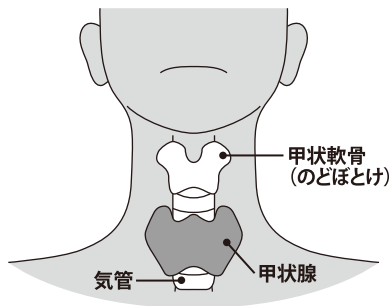
甲状腺がん

日本人の2人に1人が一生のうちに一度はなるといわれている『がん』。シリーズ「がんに克つ!」では、日本人がかかりやすいがんを中心に、その特徴・最新治療・予防法などを紹介します。

甲状腺

はのどぼとけのすぐ下にあり、重さが20g以下の小さな臓器です。甲状腺は内分泌臓器（体の中で甲状腺ホルモン

を作る機能がある）で、その機能が働きすぎても（バセドー病）、働かなすぎても（橋本病）、体に支障を起こすことが知られています。また、甲状腺にしこりができるとがしばしばあり、大きくなると体の表面から観察できたり、触ってしこりを感じることができたりする場合があります。しこりの多くは良性腫瘍や過形成といわれる正常組織が増殖した病変であり治療が不要なことが多いのですが、大きくなったものの一部では手術による切除を行うこと



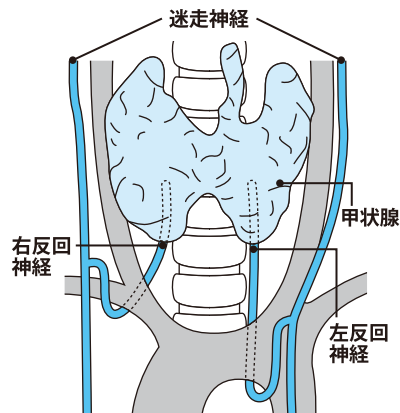
があります。悪性腫瘍である甲状腺がんの頻度は低く、他の一般的ながんに比べて進行が遅いため完治しやすい



ものが多いという特徴があります。甲状腺がんの9割以上が「乳頭がん」というおとなしいがんです。進行もとてもゆっくりですが、進行すると声がかすれたり、呼吸がしにくくなったりすることがあります。甲状腺の周囲や外側のリンパ節に転移することがしばしばありますが、その時点で治療をしても治りやすいことも知られています。

治療

は、手術による切除が必要です。甲状腺の裏側には声帯という声を出すときに必要な部位を動かす反回神経という神経が走っています。この神経を残しながら



甲状腺を摘出する必要があります。反回神経が麻痺してしまうと、一時的もしくは永続的な神経の麻痺がおこってしまい、声がかすれてしまったり、食事が飲み込みづらくなったりする後遺症が残ってしまいます。

当科

では、手術中に特殊なチューブをのどに挿入し、声帯の筋肉をモニタリングする「持続刺激モニタリング」という特殊な方法を全国でもいち早く導入しています。電気刺激により声帯が動き、この筋電図の波形が出た場合にアラームで通知されるため、従来よりも反回神経を手術中に安全かつ迅速に見つけることが可能となりました。また、反回神経を見つけるためだけでなく、見つけた後に不用意に引っ張ったり、腫瘍切除に伴うダメージが神経に与えられたりした場合、リアルタイムで神経に対するダメージの有無や程度がわかるようになっています。この技術のおかげで神経の損傷を未然に防ぐことが可能となり、さらに術後の反回神経麻痺を避けることが可能となっています。

治りやすいがんだからこそ、後遺症・合併症ゼロを目指して日々治療を行っています。 文責：耳鼻咽喉科部長 岡村 純

さらに詳しい情報などを、YouTubeの“聖隷浜松病院チャンネル「白いまど」”で配信しています。ぜひ、ご覧ください。

YouTube 聖隷浜松

検索



年頭のご挨拶

あけましておめでとうございます

昨年7月に院長に就任し、「断らない医療」と「質の高い安全な医療」を実践すべく、病院の更なる改善に取り組んでまいりました。地域の皆様に貢献するために、今年もひとつひとつ課題を解決し、職員一丸となり診療を行ってまいりたいと存じます。

皆様にとりまして幸多い年にありますよう祈念しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

2019年 新春 院長 岡 俊明



インフォメーション

イベント情報

参加無料・申込不要 お気軽にお越しください

《第3回》がんに関する市民公開講座

テーマ：学ぼう!AYA世代(思春期・若年成人)のがん患者が抱える課題とそのサポート

- ▶ 日 時 …… 2019年1月26日(土) 13:00~14:40
- ▶ 場 所 …… 大会議室(局管理棟B1階)
- ▶ 問い合わせ… がん診療支援センター

TEL 053-474-2614 (平日 8:30~17:00)

FAX 053-474-2615

新任
医師紹介



眼形成眼窩外科
たかはし めぐみ
高橋 めぐみ
山口大学
(1999年卒)



小児外科
たかはし としあき
高橋 俊明
福井大学
(2005年卒)



整形外科
みやま げんき
宮坂 玄樹
東京慈恵会医科大学
(2015年卒)

耳鼻咽喉科

くち・のど・くびのできもの・
はれもの専門



耳鼻咽喉科は、耳(中耳炎・難聴・めまい・顔面神経麻痺)、鼻(アレルギー性鼻炎・副鼻腔炎)、のど(扁桃炎・声帯ポリープ)のよく知られている病気を中心に治療にあたっています。当院のような総合病院では、鎖骨から上の領域の「頭頸部外科」としての役割も重要です。特に甲状腺や口の中を含めた頭頸部領域(咽頭・喉頭・鼻副鼻腔・顎下腺・耳下腺など)の良性腫瘍や悪性腫瘍(舌がん・喉頭がん・下咽頭がんなど)の治療を得意としており、多くのスタッフと連携を取りながら治療にあたっています。最新の技術や知識を常に取り入れ、頭頸部の病気で悩んでいる患者さんはもちろん、近隣の病院や診療所の先生方のためにも日々努力していく次第です。

文責:耳鼻咽喉科 部長 岡村 純(写真前列右)

診療を支える
スペシャリスト

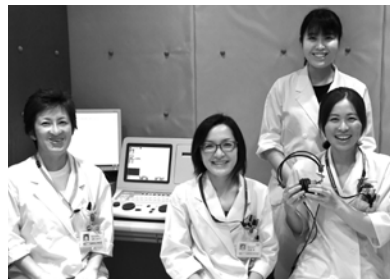
臨床検査技師 (聴力測定技術講習会認定)

聴覚とそれに関する 検査をしています

耳鼻咽喉科外来に併設されている検査室で、7名の臨床検査技師が交代で検査を担当しています。依頼件数が最も多い「聴力検査」は、聞こえの状態を調べる検査です。周りの騒音の影響を受けないように2重扉で囲まれた防音室内で、オーディオメータという器械を使って検査をします。患者さんの耳にヘッドフォンを装着して音が聞こえた時に応答ボタンを押していただきます。左右それぞれの聞こえた音の大きさをグラフにして検査結果を報告します。これにより左右差だけでなく、どの周波数の音が聞き取りにくいのかも判断できます。

また、耳の中にある「鼓膜」や「耳管」の状態や、「めまいの

程度」を調べる検査も行っています。さまざまな耳疾患の診断・治療に貢献できるよう、患者さんの症状に寄り添った検査ができるよう心がけています。



文責:臨床検査部 谷高 由利子(写真前列左)、直田 健太郎



聖隷浜松病院からのお知らせ

初診の方へ 紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診に係る選定療養費として5,400円(税込)を別途ご負担いただいています。

また予約時には、原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。

やむを得ず患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ **地域医療連絡室(JUNC)** ☎053-474-8801
(月～金曜 9:00～17:00、土曜 9:00～12:00/祝祭日を除く)

初診受付開始時間について

2019年1月から、初診受付開始時間が8時になりました。

●月～金曜 8:00～11:30 ●土曜 8:00～11:00

再診の方へ 予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがあります。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡をお願いいたします。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ **外来受付センター** ☎053-474-0100 (月～金曜 9:00～16:45)

面会の方へ

面会時間…月～土曜 14:00～20:00、日曜・祝日 10:00～20:00

- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会をご遠慮いただいています。
発熱/咳・痰/原因不明の発疹/嘔吐・下痢

ご来院の方へ

駐車場の収容台数に限りがあり、大変混み合いますのでなるべく公共交通機関(電車・バス)をご利用ください。



ジョイント・コミッション・インターナショナル認証
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院



日本医療機能評価機構



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222

発行責任者 院長 岡 俊明